

お知らせ

講習会・セミナー・見学会

●JBN第1回大工技能競技(広島)大会・予告

JBN全国大会5周年を機に、JBN独自の大工技能競技大会をスタートさせることになりました。大工の育成と能力評価、そして処遇、定着につながる新しい仕組みの構築がねらいです。実行委員会を発足させ、具体的な実施要項を本年度内に取りまとめることにしています。日程は、下記のとおりで全国大会に先立って開催し、大会で優秀者の顕彰を行います。

日程:2013年11月13日(水)~14日(木)
会場:グランドプリンスホテル広島
参加選手(JBN工務店推薦):新人大工部門30名、リーダー大工部門30名

●「性能向上リフォームの診断・計画・施工の実務」研修会

国土交通省・平成24年度補助事業「木造住宅等の施工能力向上・継承事業-既存住宅の性能向上リフォーム」により地域工務店ならではの事例にもとづく実務書(診断・計画・施工のための指針・マニュアル)を作成中です。この実務書が刊行されるのを待って、全国主要都市で研修会を実施する予定です。詳しくは次号、およびHPにて紹介する予定です。

時間:13:00~17:00(予定)
テキスト:「性能向上リフォームの診断・計画・施工の実務」(仮題)

開催日(2013年)	開催地	会場	定員
2月18日(月)	東京	LEN貸し会議室 新お茶の水 1-A	150名
2月19日(火)	名古屋	ダイテックサカエ マノアホール	100名
2月20日(水)	大阪	新大阪トレーニングセンター508.509会議室	100名
2月21日(木)	広島	センチュリー21会議室	100名
2月22日(金)	熊本	メルパルク熊本・白川	100名
2月25日(月)	山形	山形県JAビジネス AB会議室	85名

主催:JBN・サポートセンター

●「改正省エネ基準と低炭素建築物認定制度」講習会

昨年12月4日の改正省エネ基準の公布及び低炭素建築物認定制度の施行を受け、現行基準より抜本的に見直しが見られる省エネ基準とともに、同基準をベースとした低炭素建築物認定制度について、外皮の熱性能基準及び一次エネルギー消費量基準の概要、算定方法を中心に制度の利用に当たり必要となる内容を総括的かつ実務的に解説します。

開催日:2月22日(金)、3月18日(月) 両日とも10:00~12:00(受付開始 9:30)
定員:80名
参加費:無料
会場:一般財団法人ベターリビング 7階会議室A・B・C
東京都千代田区富士見2-7-2 ステージビルディング7階(最寄駅:飯田橋)

内容:1.改正省エネ基準と低炭素住宅認定制度の概要
2.低炭素建築物認定制度の基準概要と算定方法
(1)外皮の熱性能基準の概要と算定方法
(2)一次エネルギー消費量基準の概要と算定方法及び対象設備機器に求められる性能(一次エネルギー消費量算定プログラムを使用)
講師:齋藤卓三氏(ベターリビング)他
主催:一般財団法人JBN・サポートセンター/一般財団法人ベターリビング、住宅技術情報支援部
締切り:2月15日(金)必着(先着順に受講票送付)
申込方法:FAXにて 担当:島田

●「長期優良住宅・壁量計算の実務」研修会

長期優良住宅の設計に役立つ構造計算をマスターするための研修内容:構造の安定(耐震等級2等)に関する解説と演習
テキスト:長期優良住宅壁量計算の実務(耐震等級2の解説と演習)
時間:9:30~16:30
開催日(2013年) 開催地 会場 定員
2月13日(水) 宮崎 ニューウェルシティ宮崎 会議室 100名
2月19日(火) 静岡 富士市交流センター 会議室 100名
2月20日(水) 新潟 職業訓練法人西蒲原職業訓練協会 会議室 100名
参加条件:JBN会員・JBN連携団体所属会員
受講料:1名1,000円(テキスト代・修了証代含む)当日、受付でお支払い下さい。
修了証:講習修了後に交付
持参品:筆記用具・電卓
申込み:FAXによる申込書送信(定員になり次第締切)
主催:JBN・サポートセンター

●国産材委員会セミナー第4弾「デザインとしての木材の可能性」(仮)

日時:2月26日(火) 13:00~17:00(予定)
会場:品川コックヨホール 多目的ホール 定員:180名 会費:無料
講師:小泉 誠(「こいずみ道具店」店主・家具デザイナー、箸置きから建築まで生活に関わるデザインを手掛ける)。
共催:新建築ハウジング

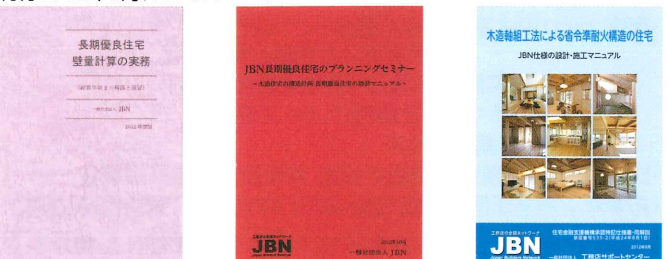
●「木造軸組工法による省令準耐火の住宅」リーダー講習会

不定期開催(受講希望者20名程度)
会場:JBN会議室(京橋)
テキスト:「木造軸組工法による省令準耐火の住宅(第2版)」特記仕様書等
講師:桜設計集団・安井昇氏(DVDによる) 本部担当者
2012年9月、「木造軸組工法による省令準耐火の住宅(第2版)」および「工務店サポートセンター仕様/概要一覧表・特記仕様書・設計施工チェックシート」が改定され、これにともない普及をはかるためにリーダー講習会を本部で開催するものです。

刊行物のご案内

●新しい刊行物

- 長期優良住宅壁量計算の実務(耐震等級2の解説と演習)
長期優良住宅壁量計算の実務研修会用テキスト
刊行2012年11月、A4・75ページ
- 木造住宅の構造計画 長期優良住宅の設計マニュアル
長期優良住宅のプランニングセミナー用テキスト
刊行2012年11月、A4・130ページ
- JBN長期優良住宅(申請マニュアル)
長期優良住宅のプランニングセミナー用テキスト
刊行2012年11月、A4・162ページ
- 木造軸組工法による省令準耐火の住宅(第2版)
旧版に新たな実験結果に基づき室内真壁造における梁・柱の4面頭に関する機構承認仕様を追加しました。あわせて、住宅金融支援機構監修「木造住宅工事仕様書」19・省令準耐火構造の住宅の仕様」に則った構成に改めました。
刊行2012年9月、A4・118ページ



○工務店サポートセンター仕様/概要一覧表・特記仕様書・設計施工チェックシートも改定しました。

●住宅改修の工事記録写真・撮影・保管の実務-
先に刊行した「バリアフリーから始める住まいの快適リフォーム」の副産物ともいえるものです。改修工事の経過を証明する写真の添付が求められたのですが、不適切なものも多く、工事が終わった段階では撮り直しが出来なかったという苦い経験から本書が作成されました。改修工事を対象に記録写真の撮り方のノウハウから、写真の整理・保管までを判りやすく説明した実務書です。工務店サポートセンター発行、刊行2012年3月、A4・32ページ

●バリアフリー改修から始める住まい快適リフォーム 指針・事例集

工務店サポートセンター、増改築委員会編、A4版・102ページ

●地域工務店のための「防耐火性能の高い木造住宅の設計・施工指針」

~木造らしさを生かした防耐火性能の高い家づくり~
工務店サポートセンター編 A4版・90ページ

●長期ちきゆう住宅国産材モデル型式認定(手刻み型)工法利用マニュアル・構造の安定

工務店サポートセンター編 A4版・212ページ

●同上「手刻みの基本(構造編)」

工務店サポートセンター編 A4版・24ページ

JBN 会員登録募集

全国の工務店の力を結集するための組織がJBNです。「地域から必要とされ、信頼される工務店」のためにサポートセンターがさまざまな面から支援します。

●発行/お問い合わせ

一般社団法人 JBNサポートセンター
〒104-0032 東京都中央区八丁堀3-4-10 京橋北見ビル東館6階
TEL.03-5540-6678 FAX.03-5540-6679
E-mail : jbn@jbn-support.jp homepage : http://www.jbn-support.jp
発行人:藤澤好一 ©工務店サポートセンター 禁無断転載



FSC® 森林認証紙と植物油インキを使用し、環境にやさしい「水なし印刷」を採用しました。

JBN サポートセンター・レポート

Japan Builders Network

■JBN会員数 正会員/2,532社、協力会員/本誌3面に一覧、連携団体/51団体
■「いえもり・かるて」登録累計数/4,367件 (2012年12月末日現在)

2013.February
No.43
発行人:藤澤好一
©工務店サポートセンター 禁無断転載
2月号

住宅の省エネルギー化の推進にむけて

重要になる地域工務店の役割

住宅の省エネ化に向けた国の取組みが急ピッチで展開されています。昨年7月に示された「低炭素社会に向けた住まいと住まい方」の推進方策について中間とりまとめ(経済産業省・国土交通省・環境省)では、住宅建設に関する目標として、2020年までに標準的な新築住宅でZEH*1を、2030年までに新築住宅の平均でZEHを実現すること。そして最終的には、住宅の建設・運用・廃棄・再利用等のライフサイクル全体を通じてCO₂排出量をマイナスにする「ライフサイクルカーボンマイナス住宅(LCCM住宅)」を実現する、としています。

また、既存住宅に関しては、省エネルギー性能の向上が新築以上に重要であり、耐震改修とともに着実に進めていく必要があり、客観的で分かりやすい指標をつくり、国民に示すとともに、既存住宅に関する評価・表示システムと流通・金融システムとの連携や省エネ改修への支援を行うなど、多面的な施策の推進を行うこととしています。

この中で、これらに担う地域工務店に対して、次のようなことが述べられています。地域住宅産業に占める割合が大きいことから、その役割を十分に認識し、省エネルギー化された住宅建設や省エネルギーの技術習得などを通じて、地域に住まう人々の安全で快適な住生活を実現するとともに、新たなビジネスチャンスの獲得、技術の伝承を目指すべきである。また、国は省エネルギー対策の推進施策として省エネ基準への適合義務化等の強化をするに当たっては、国民生活や経済活動に支障がないような配慮と取組みが必要であり、対策にかかる周知・徹底を図るとともに、都道府県ごとに、断熱施工技術の向上のための講習・実務研修等のきめ細かな対応等の支援策を進めるべきである。

これら方策をうけて1999(平成11)年からの現行省エネ基準(次世代省エネ基準)が改正されることになりました。主な改正内容は、省エネ基準の評価方法の見直しで、これまで外壁や開口部といった外皮のみを対象だった基準を、空調・換気・給湯・照明など設備機器の基準も合わせた「一次エネルギー消費量」による評価に改めるというものです。省エネ法は、法的規制のない「努力義務」でしたが、2020年には新築住宅の省エネ基準の適合義務化をめざすというものです。この改正新省エネ基準は、住宅については昨年12月公布、本年4月施行の予定でしたが、現段階では未公布、施行は本年10月に延期されると伝えられています。

改正新省エネ基準に先行して、昨年12月、都市の低炭素化の促進に関する法律(低炭素化促進法)が施行され、「低炭素住宅認定制度」*2がスタートしました。改正新省エネ基準を標準水準とし、これよりも高い誘導水準を設定し、省エネ基準適合義務化へ動き出したのです。この認定制度での適合条件は、①建設地が市街化区域内、②躯体の外皮性能が認定基準(改定中の新省エネ基準)を満たす、③一次エネルギー消費量が改定中の新省エネ基準の10%減、④低炭素化に有効な選択項目(①節水型設備、②雨水等利用、③HEMS・BEMS、④再生可能エネルギー利用設備と連携した蓄電池、⑤ヒートアイランド対策、⑥劣化軽減措置、⑦木造など)の2項目以上に該当するか、所管官庁が認めるCASBEEなどによる評価項目に該当する、こととしています。

*1 ZEH:高断熱性能、高性能設備機器と制御機器等を組み合わせ、住宅の年間の一次エネルギー消費量がネットで概ねゼロとなる住宅

*2改正省エネ基準と低炭素建築物認定制度講習会 本誌4面参照

省エネ基準改正を反映した住宅性能表示(温熱環境)の改正

改正省エネ基準にあわせて住宅性能表示制度の基準(温熱環境・4級)の見直しが進められています。そのための意向調査の依頼が国土交通省担当官によりJBNに対してあり、年明け早々の1月10日(木)に実施されたところ。JBNからは5人の実務に明るい若手工務店事業者(写真)にその対応をお願いしました。約2時間こわつて、省エネ性能(一次エネルギー消費量)と温熱環境(外皮性能)について、その区分、評価、表示、それらによる等級と水準設定などについて意見を交換しました。顧客の反応、設計施工の実績、市場の動向、とりわけ中古市場への将来展望など外国の事例などを交えた具体的にリアルな議論が展開されました。このような機会がもたれ、法制度に反映されることが業界団体として存在の重さであり、役割でもあります。

いずれにしても基準と表示の「ものさし」には、地域差もあり、技術レベルもあって一様には扱えない側面もあります。本年度から始まった住宅省エネルギー施工技術講習会は、5カ年で約20万人を対象に適正な断熱施工技術の習得がねらいですが、その推進体制としての地域木造住宅生産体制推進協議会(47都道府県)と連携をはかるJBN(都道府県)の役割もますます大きくなるものと思われれます。

「地域型住宅ブランド化事業」をはじめ、緊急経済対策を中心とした2012年度補正予算による「住宅・建築物省エネ改修等緊急推進事業」における省エネ改修、「地域材活用促進事業(木材利用ポイント事業)」などでもその役割が期待されています。



住宅性能表示制度・温熱環境に関するヒヤリングに応じる。手前から、小山貴史(エコワークス)、足立操(足立建築)、大瀧浩司(大功建設)、青木哲也(青木工務店)、小林弘典(水戸工務店)の各氏



地域木造住宅生産体制推進協議会(47都道府県)の窓口になるのはJBN(都道府県) 全国木造住宅生産体制推進協議会「住宅の省エネルギー化の推進」パンフレットより

2013 JBN全国大会 設立5周年記念広島大会

2013年11月13日(水)~11月15日(金) 11月13日(水) 大工技能者育成・定着のために技能競技大会
の3日間 11月14日(木) 午後・5周年記念全国大会
主催:一般社団法人JBN・一般社団法人 夜・交流会
広島県工務店協会 11月15日(金) 午前・基調講演・シンポジウム
11月16日(土) 終日・エキスカージョン



会場 グランドプリンスホテル広島

地域を活かし、地域を支える工務店の全国組織・JBNは、一般社団法人全国木造建設事業協会(全木協)の活動を支えるとともに新たに発足した全国木造住宅生産体制協議会ならびに都道府県木造住宅生産体制協議会などの関連機関との連絡、調整をはかりながら復興支援と地域活性化に努めてまいります。

活動報告

前月号以降の活動

○第1301回 役員会 1月16日(水) 15:00~17:00

役員3名、常任理事3名、事務局2名
開催場所:JBN役員室

【あいさつ】

・青木会長
センターレポートの新年号あいさつでも述べたが、業界団体として組織が拡大しているのはJBNしかない。

対外的なアプローチも多い。JBNが全国組織になったという実感がある。国の施策についても事前にヒアリングを受けるようになった。役員・事務局も含め、この認識をしっかりと持ってあたりたい。今年は、各県にJBN都道府県団体を設立して、未組織県を埋めていきたい。組織拡大とともに組織充実をしっかりとやっていきたい。

・藤澤センター長

事務局の執務が1月7日からスタートした。事務局に対しての年頭の挨拶では、今年は5周年、節目の年と言うことで事務局も気合いを入れて励んで欲しい。特に青木会長のさらなる進展を事務局としてしっかり支えて欲しいと伝えた。工務店には色々なタイプがある。JBNの社員の中には、山脈の頂上に近い方々も多いが、山脈が連なれば裾野も広がる。裾野を構成する大多数の会員の方々が求めているサポート要請にしっかりと応えていける事務局であってほしいとも伝えた。

【主な報告】

1) センターレポート(No.42) 関連、JBN委員会報告等

2) 会員実数、住宅履歴登録数

3) 12月末の財務諸表について

4) 全木協協定締結状況

1月24日に長野県、2月6日に愛媛県と協定締結の予定。

5) 年間スケジュールについて

6) 省令準耐火・防耐火・瑕疵保険講習会開催について

省令準耐火・防耐火講習会については、住宅あんしん保証の講師派遣などの協力を得て展開。

瑕疵保険講習会については、JBN技術管理課の島田職員が講師として全国主要都市で実施の予定。

7) 就業規則・関連規定(案)について

就業規則の整備に取り組んできたが、大野常任理事、事務局従業員代表の意見を踏まえ、4月1日施行を別途に最終調整。

【主な議事】

1) 協力会員加入・社員申し込み申請の件

申請のあった協力会員4社、社員会員1社を承認した。

2) 情報セキュリティマネジメントシステム導入の件

第一段階として現況診断を実施。結果報告を踏まえ、その後の方針を協議。

3) JBN都道府県会長及び都道府県事務局委嘱について

今年の課題として、未組織県の団体設立及び既存団体への働きかけにより会員拡大を図る。

4) 全国事務局長会議・連携団体事務局研修・JBN連携団体ブロック会議開催について

事務局長会議を6月12日に開催の予定。職員研修はJBN全国大会最終日に開催。

5) アース21からの質問状の件

事務局原案の回答書の一部修正し、会長・和田常任理事が内容確認の上、送付する。

6) その他

会長より、資料に基づき2013年「JBNの目標」、2013年度事業計画(案)、国交省・林野庁の新施策の説明があった。

次回 2013年2月12日(火) 15:00~17:00 JBN会議室

青木会長の動き

2012年12月15日~2013年1月16日

2012年12月

・15日(土) 宮城、青森、山形、各県会員と情報交換

・18日(火) 山口、香川、各県会員と情報交換

住宅保証機構打合せ

マーケット委員会

次世代の会 マミフラワー 川崎氏セミナー

北海道立北方建築総合研究所 鈴木部長セミナー

次世代の会忘年会(マミフラワー会場)

・25日(火) ベターリビング打合せ

リフォームセンター、国交省、松村教授のヒアリング(既存改修委員会玉置委員長他)

全建総連澤田住宅対策部長、山下技術対策部長とUR本社訪問(和田常任理事同行)木造復興住宅について情報交換

・26日(水) 塗料メーカー和信化学塗料打合せ

2013年1月

・8日(火) 事務局打合せ

木を活かす建築推進協議会運営委員会

・9日(水) 電通新年会

・10日(木) 住宅保証機構理事長来所

ベターリビング理事長来所

国交省 性能表示制度における「温熱環境に関すること」の

改正についての意見交換会(環境委員会小山副委員長他)

役員会

・18日(金) リーダー大工研修会で挨拶(新潟県燕市)

委員会・WG 報告

●活動報告 ○活動予定

次世代の会

●第1211回 12月19日(水) 13:00~17:00

会場:マミフラワーデザインスクール・マミ会館

第1部:異業種から学ぶ「花から住まい手との絆を育む」13:30~15:00

講師:マミフラワーデザイン主宰 川崎景太氏

数々のデモンストレーションや展示会、TV、雑誌でのプレゼンテーションを手掛ける、現代フラワーデザイン界のリーダーのひとり。大胆な発想の空間インスタレーションや音楽プロデュースも定評がある川崎氏が、花を通じて、いかに住まい手の心を掴み、そしてそれをどう活かして絆を強くするかを講演。

第2部:「ここからの省エネルギーの動向と課題」15:30~17:00

講師:北海道立北方建築総合研究所環境部長 鈴木大隆氏

エコロジカル・低炭素建築・住宅の研究開発などに幅広く取り組んでいるほか、国の住宅省エネ基準策定、低炭素化に向けた各種施策設計にも関与している鈴木氏が、今後の日本が向かう省エネルギーの動向と直面する課題について講演。

●第1209回 1月16日(水) 静岡県

参加者:23名

静岡県工務店研修視察

1) ㈱大工建設モデルハウス見学(床材、壁紙、外断熱、温熱環境について)

2) ㈱大工建設完成物件見学

3) 鳥坂建築㈱現場見学(長期優良住宅への取り組みについて)

4) 鳥坂建築㈱会社見学(営業、現場管理、経営方法等ディスカッション)

5) 懇親会

○今年度の開催日程(予定) 2月、3月

大型木造研究委員会

●ハイブリッドトラス実大実験見学会 12月19日(水)

東京大学生産技術研究所 千葉実験所

・実験結果の報告及び考察

・ハイブリッドトラスの実大実験見学

●正副委員長会議 1月18日(金) 10:00~12:00

東京大学腰原研究室

・今年度成果報告とりまとめについて

○今年度の開催日程(予定) 2月、3月(各月1回程度開催予定、日時未定)

既存改修委員会

○第1213回 2月1日(金) 15:00~17:00 JBN会議室

1) 部会活動報告

2) ヒアリング内容と予定地報告

3) 住宅瑕疵保険について

国産材委員会

○今年度の開催日程(予定) 3月に委員会及び研修会を開催

環境委員会

○第1207回 1月30日(水) 13:00~17:30

金子建築工業視察(岐阜県恵那市)

・省CO2先導事業についての紹介、モデルハウス視察、現場視察を予定

○今年度の開催日程 3月27日(水)

マーケット委員会

○マーケット委員会WG 2月20日(水) 10:00~12:00(予定)

地域工務店のソコデカラ 第2回

地域から必要とされる

「町医者」的工務店をめざして

JBN高知 会長

矢野久幸

当社は地元高知県梺原(ゆすはら)産の杉や桧の構造材を100%使用した「自然の恵みと共存する五感で楽しむ家造り」をコンセプトとしてお客様にご提案しています。

落ち着いたある彩り、自然の風の流れ、心地良い木の香りと手触りを感じられる居場所で家族団楽の食事ができる家、そんな 自然の恵みと共存する「五感で楽しむ家造り」に取り組んでいます。そのためには洗練された「設計力」と真心こもった「施工力」が必要です。敷地形状や動線、デザインや色彩などお客様のライフスタイルに合わせてオリジナルスタイルの家を一本の線を引くことからはじめ、納得がいただけるまで、じっくり何度でも提案し、進めていきます。

もちろん、耐震性能や温熱環境を明確にしながら環境に配慮して、これからの高齢者社会に対応出来る住宅でなければなりません。

高知県須崎市を中心に今年度は新築11棟、改修リノベーション4棟、耐震やその他の改修工事が40件と、規模的には小さな

工務店ですが、受注の65%以上がOB顧客の紹介でなりたっている地元密着型の工務店として経営させて頂いています。

高知県では30年以内に南海大地震が起ると予測されています。県民のいのちを守る耐震改修や街のインフラ整備が必須となっています。

また、少子高齢化が増々進む中、お年寄りが安全で安心して暮らせるユニバーサルな街づくり計画が急務であり、バリアフリーや省エネ改修などの人々の生活に密着した町医者的な役割も工務店が必要とされる条件の一つです。

仲間の工務店や木材などの関係者とも連携をはかり、若い大工や職人の育成や指導にも力を注ぎながら社会に貢献できる、そして地域から必要とされる工務店をめざしています。



やねたかハウス



二人のべつどう

(前号より、JBN地域会長によるソコデカラを連載しています)

●リーダー大工育成のための短期集中研修を実施

○研修課題と日程・プログラム

・1月17日(木)~1月20日(日)

・課題:「振れ隅木振れ垂木小屋組」について

延び矩使いの理論と実技研修

第1日 講義・展開図作図法、原寸展開図の作成

第2日 実習・木づくりと墨付け、夜・交流会

第3日 加工と組立、講評

・研修場所:新潟県燕市吉田学校町-西蒲原高等職業訓練校

・指導者:近藤進氏(同訓練校校長・JBN社員/株近藤工務店代表取締役)

○平成24年度国土交通省・木造住宅等の施工能力向上・継承事業として工務店サポートセンターが提案し、採択された事業です。昨年の10月、11月には、次の世代を担う若手大工を対象とした研修(基礎コース)を、今回はその指導者となる人材を対象に短期集中型のリーダー研修(応用コース)を実施しました。あわせて、次世代大工の育成システムを構築することがねらいです。

全国から15名が参加しました。年齢層は26才から68才まで、このうち第一線で活躍する30才代が10名と大勢を占め、北海道、秋田、長野、富山、東京、神奈川、広島、福岡と広くから参加がありました。

うち12名が建築大工一級技能士の資格取得者でしたが、日頃の仕事では規矩術を使う機会がないという人が殆どでした。

●協力会員紹介

JBNは、名実ともにわが国最大の工務店集団となりました。地域から必要とされ、信頼される工務店としてパワーアップをはかり、関連事業者とともに「良質な住宅」を支えていくのは「地域の工務店」だと誇れるプランニングに向けて結束を強めましょう。

現在、JBN連携団体で取組まれている「地域型住宅ブランド化事業」のねらいの一つは、地域工務店と関連事業者(地域材等資材供給から設計・施工まで)が緊密な連携体制を構築することにあります。ここに紹介する協力会員との連携が、地域資源を活用し、地域の気候・風土にあった良質で特徴的な「地域型木造住宅」の生産・供給・維持管理の体制強化につながります。地域経済の活性化及び持続的発展、地域の住文化の継承及び街並みの維持・保全、木材自給率の向上による森林・林業の再生等への寄与が現実のものになりつつあります。

JBN協力会員一覧(五十音順)

(2013年1月15日現在)

Table with 4 columns listing JBN cooperation member companies in alphabetical order. Columns include company names and their registration details.